

【追加募集】第17回（令和7年度）熱帯医学研修 開催要項

1. 研修目的

本研修では、熱帯医学に関する実践的な知識を養い、国際保健分野における持続的な貢献を可能にすることを目的とし、以下の成果を目指す。

- ・ 国際赤十字・赤新月社連盟の保健事業を深く理解し、国際活動により貢献できる人材を育成する。
- ・ ERU（緊急対応ユニット）やコミュニティヘルス活動を含む日本赤十字社の国際保健活動を強化する。
- ・ 国際要員が自身の健康管理に必要な基礎知識を習得し、派遣地における安全な保健環境を維持できるようになる。
- ・ 外部の大学や専門機関の専門家との学際的な議論を促進し、知識の深化と応用力の向上を図るとともに、専門的ネットワークの構築や将来的な協働の機会を創出する。

2. 研修内容（概要）

以下の内容について、座学（主にオンライン）、グループワーク・シミュレーション・顕微鏡実習（集合型研修）等により習得する。

- ① 全ての職種に必要な熱帯医学の基本的な知識。
- ② 熱帯地域特有の感染症を診断・予防するための基礎知識。
- ③ 派遣準備段階や派遣中における個人の健康管理。
- ④ 被災地や集団における予防接種の計画立案のための基礎知識。
- ⑤ コレラなどの感染症アウトブレイクへの対応。

3. 研修スケジュール

本研修は、オンライン研修と集合型研修によって構成される。参加者はすべてのプログラムに参加すること。

※オンライン研修について、設定された時間に参加出来ない場合は、集合型研修開始までに録画を視聴完了すること。

オンライン研修*

8月22日(金)17時30分～20時00分（終了予定）＊後日、録画配信あり。

集合型研修

8月29日(金)12時30分（受付開始）～ 8月31日(日)12時30分（終了予定）

4. 研修会場

日本赤十字社和歌山医療センター 本館 12 階 多目的ホール

5. 研修プログラム

別紙参照

6. 使用言語

日本語 ※資料など一部は英語表記あり。

7. 研修対象者

以下のいずれかの条件を満たすこととし、職種は不問とする。

- ・次のいずれかの研修を修了している者。

国際救援・開発協力要員基礎研修 I (WORC)、国際救援・開発協力要員基礎研修 II (IMPACT)、
保健医療 ERU 研修（旧基礎保健 ERU 研修含む）

- ・今後、保健医療分野における国際活動を行う意思のある者。

※近年の日本赤十字社の海外支援活動を念頭におき、実践で役立てる最新知識を取り入れた内容
としていますので、既習者の再受講も勧めます。

8. 研修申込方法

所属上長および所属施設の了承を得たうえで、申し込みフォームから**令和 7 年 7 月 18 日(金)**
までにお申し込みをお願いします。

●申し込みフォームリンク

<https://forms.gle/wvNuqazmaqfoMgs9>

●QR コード



※申込後、受領確認メールが自動送信されます。受領確認メールが届かない場合は、その旨を、
下記 11.の担当者までお問い合わせ願います。

9. 研修人数

25 名程度

※応募者多数の場合は書類選考を行います。参加の可否は申込者全員に 7 月末までに通知いたします。

10. 研修参加費等

- (1) 受講料および教材費は無料。
- (2) 研修期間中の昼食は各自でご持参ください。但し、希望者に限り、研修 2 日目の昼食としてお弁当（金額は調整中、自己負担）を手配いたします。
- (3) 宿泊および公共交通機関は各自で手配をお願いします。
- (4) 当医療センター入館に際しては、マスクの着用、手指消毒の徹底などの感染対策にご協力をお願いします。
- (5) 研修参加にかかる旅費について、日本赤十字社支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の対象となるため、おって申請・充当してください。ただし、昼食代は対象外です。なお、同交付金の旅費の扱いについては、平成 26 年 9 月 30 日付人事第 445 号「本社招集旅費の取扱いについて」及び令和 7 年 3 月 7 日付人企第 32 号「旅費法の一部改正に伴う日本赤十字社の対応について」に基づく暫定措置が準用されます。

11. お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 国際医療救援部 担当 林、寺尾

〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20

電話 : 073-422-4171 (内線 3434)

E メール : imrd@wakayama-med.jrc.or.jp